

分析・アンケート結果を踏まえた課題について (案)

No.	分類	課題 (案)	分析結果	アンケート結果
1	全般	多様な情報ニーズへの対応と簡潔・明瞭性の両立 事業報告書の記載ページ数は年々増加傾向。また、利用者ニーズは多様であり、SDGs等の社会課題への取組など新たな利用者ニーズへの対応も求められる。 利用者からも簡素化すべきとの意見があり、一般国民など利用者の利用拡大を図るためにも簡潔・明瞭性の確保が重要。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書の記載量は増加傾向にある。(P. 1) ・24法人は50ページ以上。(P. 2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に利用している記載事項、充実させてほしい情報は、利用者の属性によって異なる。(問E、問F) ・簡素化を求める意見が一定数存在。(問I) <p>【自由回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目が細かすぎ及び専門的過ぎることや、情報量が多すぎて国民がアクセスして利用できている状況とは思われない。<u>極力簡潔化しより分かりやすく多くの人に利用されるものになるとより良い。</u> ・法人全体の情報を知る上で重要な書類なので<u>利用者の立場に立ってより簡潔で分かりやすくしてほしい。</u>
2	全般	事業報告書と他の報告書の関係 事業報告書が他の報告書等への参照ばかりとなっている事例がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・記載事項別のページ数が0.1ページとなっているケースがある。(P. 4) (※リンクのみを記載しているため) 	<p>【自由回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書の記述を極めて簡略化し、「<u>詳細は〇〇報告書をご参照ください</u>」という項目があまりに多いと、<u>読む側にとっては決して親切ではない。</u> ・事業報告書が形式的に寄りすぎており、読み物にはならない。統合報告等の内容を充実する趣旨は理解できるが、形式的な事業報告書に項目だけを入れ込んでも、ストーリーにならない。形式的なものは最低限として、ストーリーとして読ませるものを別に作るなど、<u>独法の自由演技を認めていただきたい。</u>
3	全般	記載様式の統一性 法人間の比較のためには記述が様式通りそろっていた方が良いという趣旨の意見や、法人の裁量を確保した自由な記載とした方がよいという趣旨の意見がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・「標準的な様式」と異なる構成で事業報告書を作成している法人の割合は47% (P. 3) 	<p>【自由回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人間比較のため<u>項目順を統一して欲しい。</u> ・<u>どういう情報を見てもらいたいのか、統一的な様式により作成されることが望ましい。</u> ・<u>独法ごとに事業の特性は大きく異なるので、記載方法等を強制させる形にしない方がよいのではないか。</u> ・ガイドラインは示して頂きつつも、できる限り<u>各法人の裁量で判断できるような制度設計、運用をしてほしい。</u>
4	全般	読みやすさ、見やすさの工夫 事業報告書の大半は文章を主体とする構成。イラスト等を多く用いる、専門用語の使用は最小限にするなど読み手を意識したわかりやすい報告書にすべきとの多数の意見があった。 一方、提出期限のある法定書類であることから、期限内での作成上の限界を指摘する意見もあった。	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状態の説明に図表を用いている法人は14% (P. 26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>わかりにくい、読みにくいと感じた理由</u>」としては、「<u>文字だけの説明が多い</u>」、「<u>堅い文章文章、表現が多い</u>」という回答が多い (問H) <p>【自由回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政文書ではなく、<u>一般の方が読むものであることを意識して、イラストや写真を多く掲載したほうが分かりやすくなる</u>と考える。 ・<u>一般国民が理解できなければ本来の目的が達成できないので、できるかぎりわかりやすい記載を希望する。</u> ・<u>短時間で膨大な情報をとりまとめ、理事長まで決裁を取り、会計監査人の監査も経て、主務大臣に提出する必要がある。そのため現行制度下においては視覚的訴求力は劣後させざるを得ない(事業報告書を補完する手段として統合報告書を作成。通則法の期限にとらわれることなく腰を据えて作成することやデザインを外注することが可能)。</u>

No.	分類	課題（案）	分析結果	アンケート結果
5	個別	<p>サステナビリティ情報の充実</p> <p>サステナビリティ情報に対する利用者の関心・ニーズは高いものの、法人により内容の差が大きく、現状はあまり利用されていない。利用者ニーズに応える記載内容とすることが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に関する取組に関する記載が多く、法人ごとの記載量の差が大きい（P. 16、17） 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を充実して欲しいという利用者ニーズが高い一方で（問F）、現状は利用されていない（問E）。 【自由回答】 ・SDGsへの取組みが世間から一段と注目されている環境下、<u>斯かるトピックスの内容の充実を図ってほしい。</u> ・税金等を原資とする独法の事業・活動が<u>持続可能な社会の構築にどのように、どれだけ貢献しているか、は重要な視点である。</u>
6	個別	<p>業務運営上の課題・リスクの内容充実</p> <p>業務運営上の課題・リスクは内容を充実して欲しいという意見が多い。他方、現状、情報セキュリティなどの一般的リスクの記載に留まっている法人も多い。記載内容の充実を図ることが望まれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人固有のリスクを記載している割合は 50%程度（P. 19） 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を充実して欲しいという利用者ニーズが高い（問F） 【自由回答】 ・<u>具体的課題・リスク及び対応策の記載が無く、単に体制や事業の説明や一般的なコンプライアンス等のリスクに留まっているケースも多い。</u> ・<u>外部ステークホルダーにとって最も重要な内容であり、メッセージとなりうる。</u>
7	個別	<p>中期計画・年度計画の記載方法</p> <p>中期計画・年度計画は、計画の項目のみを記載している事例、逆に個別の業務全ての概要を記載した結果 10 ページ以上となる事例がある。簡潔に記載すべき、わかりにくい・読みにくいといった意見も多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画・年度計画についてのみに記載している法人が 17%（P. 14） ・中期計画・年度計画を 10 ページ以上記載している法人もある（P. 14） 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に記載すべきとの意見が比較的多い（問G） ・わかりにくい・読みにくいとの意見が比較的多い（問H） 【自由回答】 詳細に記載している法人もあるため、<u>概要記載を徹底し、ページ数を削減したほうが読みやすいと考える。</u> ・<u>簡潔にすると結局内容が無くなってしまう。必要があれば中期計画・年度計画本体を確認すれば良いので、掲載しなくても良いと思う。</u>
8	個別	<p>当期の活動実績・成果を一覧できる情報の不足</p> <p>当期の活動実績・成果に関する情報は内容を充実して欲しいという意見が多いものの、「標準的な様式」には当期の活動実績・成果を記載させる明確な項目が存在しない。現状では一部の法人が自主的に項目を設けて記載している他、「法人の長によるメッセージ」、「業務の適性な評価の前提情報」などの項目に記載している例もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当期の活動実績・成果をまとめた記載事項を設けている法人は 22 法人（P. 3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を充実して欲しいという利用者ニーズは高い（問F） 【自由回答】 ・<u>当年度の取組みのトピックスなど、特に年度によって注力した内容や成果をわかりやすく盛り込む事が必要だと考える。</u> ・<u>年間の事業によってどのような成果が得られたのか記載してほしい（課題解決した取組など）。</u>